



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.1094 2017年10月16日

10月は「受信環境クリーン月間」です

受信環境クリーン中央協議会では、例年10月1日から10月31日までの間を「受信環境クリーン月間」と定め、放送電波の受信障害の防止に向けた活動を集中的に展開しています。会員の皆様も電波障害の防止になお一層のご協力をお願いします（詳細はARIB ニュース No.1089 2017年9月11日を参照ください）。

ARIBの動き

第11回日比共同作業部会への参加とテストTS配布説明会の開催

日本・フィリピン両国政府は、フィリピンにおける日本方式地上デジタル放送(ISDB-T)の導入に必要な諸課題を検討するために日比共同作業部会を開催しており、その第11回会合が9月28日フィリピン・マニラで開催され、ARIB/DiBEGも参加しました。また、共同作業部会開催後には、現地の放送事業者、受信機メーカーを対象としてARIB/DiBEG主催でISDB-Tの基準信号となる、テスト用トランスポートストリーム信号(テストTS)の配布説明会を行いました。

1 第11回日比共同作業部会

フィリピン側は国家電気通信委員会(NTC)のコルドバ委員長、岡崎 JICA 専門家ほか、日本側は総務省の小川放送技術課技術企画官、在フィリピン日本国大使館、ARIB/DiBEGほかが会議に参加しました。

会議ではフィリピン側より現在の免許申請受付状況、CAS導入の検討状況や14-20チャンネルを使用する既存無線局の移行・デジタル放送への割当てについて報告が行われました。また、官民の関係者の参加を得て、受信環境のモニタリング、TV受信機のテスト及び規制を検討するためのタスクフォースからなる「地デジ実施委員会」の設立を検討している旨説明がありました。



共同作業部会の模様



共同作業部会の出席者一同

一方、日本側からは、ISDB-T 採用国の現状、総務省が実施するフィリピンへの支援施策について紹介を行うとともに、地デジ化に伴う技術的課題への対応策について助言を行い、特に受信環境モニタリングについては、その方法も含め具体的な提言を行いました。

2 テスト TS 配布説明会

フィリピン側は NTC のブランコ放送サービス課長、放送事業者、受信機メーカー、日本側は橋本 DiBEG 委員、ARIB が参加しました。

フィリピンでは TV 受信機への緊急警報放送(EWBS)機能の搭載を義務化することとしていますが、その対応のため適切なテスト TS が必要となります。今回の説明会は、フィリピン政府から日本側に対してテスト TS の提供について協力要請があり、ISDB-T の普及促進の観点から ARIB/DiBEG から無償配布することで開催したものです。

説明会では、橋本委員よりテスト TS の技術的な説明をデモも交えながら行い、テスト TS がフィリピンの ISDB-T 規格に完全準拠していることを示しました。次に、ARIB からテスト TS 配布に伴う承諾事項*についての説明を行い、その内容に同意した事業者等にテスト TS を配布しました。

NTC ブランコ放送サービス課長からは、この配布に伴い、TV 受信機への EWBS 機能の搭載義務化を 2019 年 4 月から開始するとの正式な宣言がありました。これにより、フィリピンにおいて、ISDB-T の大きな特徴である EWBS の普及促進が図られることが期待されます。

なお、今回テスト TS を入手できなかったメーカー等についても、承諾事項に合意すれば、今後ともテスト TS を配布する予定です。



テスト TS 配布説明会の模様



配布したテスト TS と署名入り承諾書

* 承諾事項文書の主な内容

- ・コンテンツの著作権の保護内容に関する条項
- ・テスト TS を使用した場合の損害賠償の免責条項

第 243 回業務委員会を開催

第 243 回業務委員会を開催しましたので、その概要をお知らせいたします。

- 1 日時：平成 29 年 10 月 11 日(水)午後 3 時 30 分から午後 4 時 30 分まで
- 2 場所：当会第 2 会議室

3 議事概要：

- (1) 第 105 回規格会議の開催について
- (2) ARIB-DVB 会合報告について
- (3) アジア・太平洋電気通信共同体無線グループ第 22 回会合(AWG-22)の概要について
- (4) CEATEC JAPAN 2017 での ARIB の出展報告について
- (5) その他

今週の ARIB 内会合(10 月 16 日～10 月 20 日)

- 10 月 17 日(火) 第 105 回規格会議
10 月 18 日(水) スタジオ設備開発部会 機器間 IF 作業班

今週の国際会合(10 月 16 日～10 月 20 日)

参加を予定している会合はありません。

総務省からのお知らせ

周波数の国際協調利用促進のための 海外展開プロジェクトに関する提案の募集

【平成 29 年 10 月 3 日発表】

総務省は、我が国の周波数事情に合う周波数利用効率の高い技術に関し、国際的な優位性により国際標準として策定されるようにするため、当該技術の国際的な普及を促進する「周波数の国際協調利用促進事業」を実施しています。

今般、当該事業において、我が国で開発された無線技術で国際的な普及が有望と見込まれる電波システムに関する海外展開プロジェクトについて、平成 29 年 10 月 3 日(火)から同月 24 日(火)までの間、広く提案を募集しています。

詳細については[【平成 29 年 10 月 3 日の総務省報道資料】](#)をご覧ください。



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

☎100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<http://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp